

育てた野菜を、地域の人へ

太田川産直市 (道の駅 来夢とごうち内)

安芸太田町では、自分で育てた農産物を町内の産直市へ出荷できます。小規模から始めた新規就農者にとっても、身近な販路の一つです。季節ごとに山菜・野菜・きのこ・加工品などが並び、地域の人や観光客に直接届けられます。



太田川産直市

広島県山県郡安芸太田町上殿632-2(道の駅 来夢とごうち内)
《TEL》0826-22-6500 《休業日》火曜日・金曜日(営業カレンダーあり)

安芸太田町には、農業を始めたその先を支える販売の場があります。

こんな魅力があります

販路

地元で販売できる安心

小規模

少量から出荷しやすい

交流

生産者同士がつながる

旬

四季折々の味覚が並ぶ

新規出荷者募集

あなたの農産物を、産直市で販売しませんか？

太田川産直市では、新規出荷者を募集しています。丹精込めて育てた農産物を地域の人や観光客へ届けてみませんか。販売を通して、生産者同士の交流も生まれ、就農後の販路の一つとして活用できます。

詳しくは太田川産直市までお気軽にお問い合わせください。

移住のこともお気軽にご相談ください！

住まいや仕事、暮らしのことなど、移住に関する不安や疑問を相談できます。

就農とあわせて、あなたの新しい暮らしをサポートします。



住まい探し

空き家や住宅情報の紹介

仕事・就農

就農支援制度や仕事の相談

暮らし

子育て、医療、買い物など生活情報

地域とのつながり

地域紹介や先輩移住者との交流

まずはお気軽に
お問い合わせください！

安芸太田町 地域協働課

《TEL》0826-28-2116
《Mail》chiikikyodo@akiota.jp



移住定住支援サイト
住んでみつける
たからもの

就農について相談してみよう！

「農業を始めたいけれど、何から始めればいい？」そんな方は、まず相談窓口へお気軽にご相談ください。

安芸太田町

就農や支援制度について

安芸太田町役場 産業観光課 農業振興係
〒731-3810 広島県山県郡安芸太田町大字戸河内784番地1
《TEL》0826-28-1973

《Mail》sangyokanko@town.akiota.lg.jp

受付時間：8:30～17:15(土・日・祝日、年末年始を除く)

【主な相談内容】新規就農相談／農地に関する相談／担い手育成
就農支援制度／有害鳥獣対策／農業振興全般



広島県

就農支援や研修・雇用について

広島県農業経営・就農支援センター
〒730-8511 広島市中区基町10番52号 本館4階
《TEL》082-513-3532

《Mail》noukei@pref.hiroshima.lg.jp

電話対応時間：8:30～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝日、年末年始を除く)



農業の
就業相談の
ご案内



ひろしま農業
応援ガイド

このマチで 土と生きる。 安芸太田町 就農ガイド



安芸太田町

自然が、仕事になる。 暮らしになる。

広島市内から車で約1時間。中国山地の豊かな自然に抱かれた安芸太田町では、清らかな水と昼夜の寒暖差を生かした、この土地ならではの農業が営まれています。地域の人のつながりや充実した就農支援も、この町ならではの魅力。ここで、あなたらしい暮らしと仕事を始めてみませんか。

安芸太田町って
こんな町！



自然

中国山地の豊かな自然に囲まれ、町の約88%を森林が占めています。清らかな太田川の源流域に広がる里山では、四季折々の美しい風景とともに農業が営まれています。

気候

町内は標高差が大きく、北部と南部で気候が異なります。冬は積雪のある地域もあるため、育てたい野菜に合った土地選びが大切です。

農業の特徴

水稻を中心に、葉物野菜・キャベツ・祇園坊柿など、多彩な農産物を生産。冷涼な気候と豊かな水を生かした中山間地域ならではの農業が行われています。

アクセス

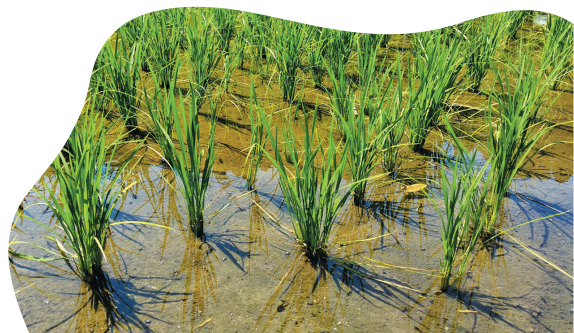
中国自動車道のインターチェンジが2か所あり、広島市中心部から車で約1時間。自然豊かな環境でありながら都市部へのアクセスも良く、生活や出荷にも便利です。

暮らしの魅力

自然に寄り添いながら、自分らしい暮らしを実現できる町です。地域とのつながりが深く、人の温かさを感じられる環境も魅力。移住・定住支援制度も充実し、新しい一歩を応援しています。

数字で知る 安芸太田町

- 森林率約88%
- 広島市中心部から約1時間
- 太田川の源流域
- 標高約300~800m
- ・ほうれん草
- ・キャベツなどを生産



自然の恵みを生かした 多彩な農業

標高差による多様な気候を生かし、露地栽培から施設栽培まで地域に合った農業を展開。近年は新規就農者や小規模農業への支援にも力を入れています。

おいしい農産物マップ



地域ごとに栽培される代表的な農産物をマップで紹介！

- …米
- …ほうれん草
- …カキ
- …トマト
- …小松菜
- …とうもろこし

安芸太田町を代表する農産物



葉物野菜

小松菜・ほうれん草を中心に修道地域と筒賀地域で施設栽培されています。鮮度がよく産直市でも人気です。



水稻

西中国山地の澄んだ名水と豊かな自然に育まれたお米は美味しいと評判。コシヒカリのほかヒノヒカリ、あきたこまちなどが栽培されています。



とうもろこし

寒暖差が大きいため、甘味の強いとうもろこしの栽培が盛んです。5月~8月にかけて様々な種類のとうもろこしを楽しめます。



祇園坊柿

柿の古品種として古くからある種なしの渋柿です。干し柿は高級品として贈答用に、あし柿は肉厚でさっぱりとした甘み特徴。苗木の購入や有害鳥獣対策への支援制度もあります。



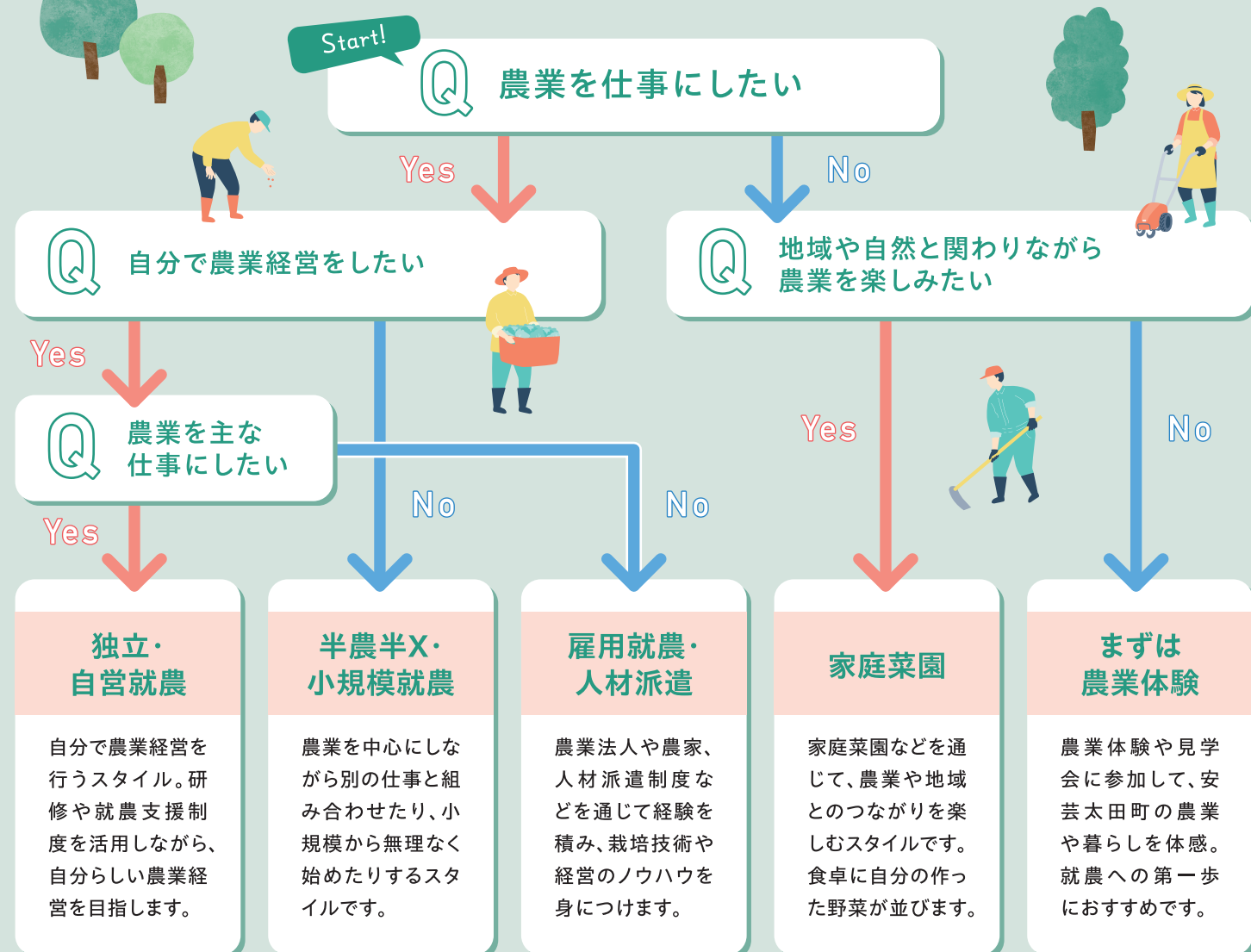
農産物カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水稻	←→					←→						
葉物(施設)	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
とうもろこし		←→	←→	←→	←→							
祇園坊柿							←→	←→			←→	←→
きゅうり・トマトなど(夏野菜)		←→	←→	←→	←→	←→						
白菜・大根など(冬野菜)					←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→

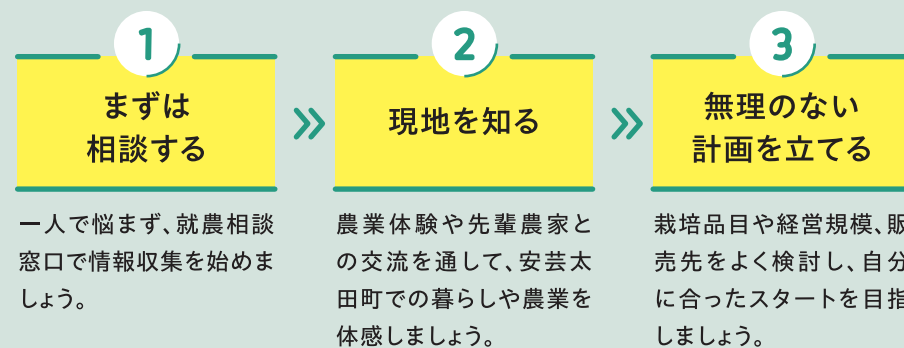
あなたらしい農業の始め方を見つけよう

農業との関わり方は、一つではありません。

「まずは体験してみたい」「農業を仕事にしたい」「いつか独立したい」「地域で暮らしながら少しずつ始めたい」など、一人ひとりの思いはさまざまです。安芸太田町には、それぞれの希望に応じた就農スタイルやサポートがあります。チャートをたどって、自分にぴったりのスタイルを見つけてみましょう。



就農成功のPOINT



雇用就農のおすすめ

あきおおた未来創造協同組合

地域の事業所で働きながら経験を積める「特定地域づくり事業協同組合」。農業・飲食・介護・スキー場など地域のさまざまな仕事を組み合わせ、一年を通して安定して働ける仕組みです。人材派遣制度などを通じて農業法人などで働くことで、栽培技術や経営のノウハウを身につけます。将来の独立を目指す方にもおすすめです。

[問い合わせ] 《TEL》080-3881-6845

NEXT STEP

チャートで自分に合った就農スタイルが見つかったら、次はその夢を実現するためのサポートをチェック！安芸太田町では、就農前から就農後まで、あなたの挑戦を応援するさまざまな支援制度を用意しています。

半農半X・小規模就農

安芸太田町独自の支援

町独自の支援で就農をバックアップ！

問い合わせ先

安芸太田町役場
産業観光課
《TEL》0826-28-1973

独小 独自小規模出荷農業者認定制度

小規模農家の活性化のため、一定基準の栽培計画や販売目標を立て、町の認定を受けることで、機械購入等の補助金を受給できる制度です。

補助事業名		農業担い手支援事業	営農用施設機械器具整備事業	農業用資材補助事業
内 容		農機具の購入 (水稻専用機械は対象外)	ビニールハウスの新設・更新	農業用資材の購入
補助率 (補助限度額)	I型	補助率1／2(上限50万円)	補助率1／2(上限20万円)	補助率1／2(上限5万円)
	II型	補助率1／2(上限100万円)	補助率1／2(上限100万円)	補助率1／2(上限10万円)
要 件		認定基準のモデルは2種類あります。 ■認定モデルI型:年間売上目標50万円／経営面積約5a(約500㎡) ■認定モデルII型:年間売上目標100万円／経営面積約10a(約1,000㎡) ①町内に住所がある個人・団体 ②町内で農業をされている方 ③水稻のみは対象外。また水稻が年間売上に占める割合は20％(I型10万円、II型20万円)まで ④自ら生産した農産物や加工品の売上も含めることができる。(加工品のみは対象外)		

認定 農業担い手支援事業(認定農業者限定)

認定農業者、認定新規就農者が農機具の新規購入および更新に要する経費

- 補助率…事業費の1/2以内
- 補助上限150万円

営農用施設機械器具整備事業

ビニールハウスの整備及び更新に要する経費を補助します。
※規模30㎡以上のビニールハウスの新規設置及び拡張

- 補助率…事業費の1/2以内
- 補助上限20万円

畦畔改良整備事業

畦畔改良の整備に要する経費を補助します。

- 補助率…工事費の4/10以内
- 補助上限80万円

有害鳥獣被害防止対策事業

有害鳥獣による農林水産物等への被害を防ぐために要する経費(電気柵、トタン等の防護柵など)を補助します。

- 補助率…事業費の5/10~8/10以内 ※要件により補助率が異なります。
- 補助上限15~64万円

認定

認定農業者制度

市町村が認定した経営改善計画に基づき、効率的で安定した農業経営を目指す農業者を支援する制度。

独立就農

国の主な支援制度

新規就農を応援する支援制度があります

支援制度	概 要	補助率・交付額	問い合わせ
経営発展支援事業	就農時に必要な農業機械や施設などの導入費を支援します。	補助率:「国が1/2、都道府県が1/4」の合計で上限3/4以内 補助対象事業費上限1,000万円 ※経営開始資金利用者は500万円	●就農予定地の市区町村 ●安芸太田町の場合 産業観光課 《TEL》0826-28-1973
経営開始資金	就農直後の経営が安定するまでの生活・経営を支援します。	年間165万×最長3年間 夫婦で就農する場合は1.5倍	●広島県農業経営・就農支援センター

安芸太田町で
かなえる

農ある暮らし

豊かな自然に囲まれた安芸太田町で、自分らしい農業と暮らしを実現している先輩農家の皆さん。
就農までの道のりや現在の働き方を通して、安芸太田町での暮らしの魅力をお伝えします。

安芸太田町生まれ／



沖 貴雄さん

安芸太田町で生まれ育ち広島県立農業技術大学校を卒業。在学中にほうれん草農家でアルバイトを始め、各地での研修を経たのち2015年に就農。2018年に「合同会社 穴ファームOKI」を設立。

栽培品目

とうもろこし・ほうれん草
キャベツ・白菜など

1
VOICE

ふるさとの景色を守っていくことが自分の役割

認定

農家の親戚も多くいたため、農業はつねに身近な業界でした。「稼げる農家になりたい」と専門の大学を卒業して各地で修業。本格的に就農した3年後には合同会社を立ち上げました。現在、農業は資材の高騰なども続いており、決して楽観視できる業界ではありません。しかし私が就農した当時と比べ、町の助成金も手厚くなるなど新規参入しやすい土壌も整っています。水源が豊かで、広島市という商業圏に近いのも安芸太田町で農業をする上での大きなメリットです。今は稼げる仕組みづくりが構築できるよう、模索している真っ最中。「去年よりもおいしい」と言ってもらうことを目指し、日々の農作業にも工夫を重ねています。そしてもうひとつの目標が、ふるさとの景色を守ること。安芸太田町は高齢化が進み耕作放棄地が増えています。できる限りこれらを有効活用し、生まれ育った地域に恩返ししていきたいです。



夏のメイン作物であるとうもろこしはピクニックコーンなど4品種を育てる



Message

本気で農業をやりたいなら、まずは就農地に入り地域や人に愛される農家を目指してみてください。どんなに厳しい時でも手を差し伸べてくれる人が現れ「一人じゃない」と感じられるはずです。

広島市から移住／



渡部正秀さん・久美子さん

正秀さんは元ガソリンスタンドスタッフ。「自分で何かしてみたい」という思いが高じ農業の道へ。以前は放課後等デイサービスで働いていた妻の久美子さんとともに、日々農作業に汗を流す。

栽培品目

小松菜・しろ菜・水菜
ニンジン・ピーマンなど

2
VOICE

試行錯誤しながら自分で決められることが楽しい

認定

農業の知識がまったくなかった私は、安佐北区深川にある広島市農業振興センターで研修を受け、この世界に飛び込みました。1年間の基礎研修で種まきの方法や機械の使い方を覚え、2年目の実地研修で安芸太田町へ。実際に経営してみて軌道に乗せられたため、そのまま就業となりました。近所の方たちにも非常に気にかけていただき、役場の担当者の方には住まい探しをサポートしてもらうなど、この町で農業を始められて良かったと感じています。私と結婚するまで農業未経験だった妻も、「早寝早起きが習慣になって力仕事もするし、昔より健康的な生活になった」と、日々充実しているようです。栽培においては、薬に頼らない土壤還元消毒という手法を用いたり、土に合った品種を選ぶなど工夫しながら納得の作物を育てています。自分で決めて成果を出し、できた作物が消費者の皆さんに喜んでもらえるのが何よりのやりがいです。



ジャキジャキの小松菜。渡部さんおすすめの調理法は塩とゴマ油で和えるナムル



Message

これから農業に新規参入する人は勇気がいるかもしれませんが、きちんと計画を立て、ひとつずつ実行すれば必ず成功します。私自身も、共同出荷場をつくるという夢に向かって頑張りたいです！

府中町から移住／



小笠原 寛さん

元海上自衛官。父が始めたブルーベリー園を引き継ぎ、2023年8月に観光農園「あきおたブルーベリーファーム」を開業。今後は民泊事業も展開予定で、地域に賑わいをつくるのが目標。

栽培品目

ブルーベリー

3
VOICE

お客様の笑顔が原動力に愛される観光農園へ

独小

協同組合

現在暮らしている家は父方の祖父母の家。幼い頃はよく遊びに来ていました。空き家となった家と畑を父が管理するようになり、休耕地に育てやすいブルーベリーを植えることに。当初は友人知人を招いて収穫体験を楽しんでもらう趣味に近い農園。当時自衛官をしていた私は、休みの日に作業を手伝う程度でした。しかし父も年齢を重ねて農園を続けることが難しくなり、「ならば自分でやってみよう」と継ぐことにしたのです。今では毎年来てくれるリピーターの方も増え、やりがいを感じる毎日。ジャムを作って卸すなど六次産業化もしています。農業は自然との闘いなので、防鳥ネットを張るといった苦労もありますが、来てくださるお客様の笑顔が頑張りの原動力に。また、近隣農家の方たちとの情報交換もすごく勉強になっています。思い入れのあるこの地域に寄り添い、愛される農園として認知されていきたいです。

Message

これから農業をスタートするなら、まずは農業法人などで研修を受けることをおすすめします。ノウハウが得られることはもちろん、道具を譲ってもらえるなど、貴重な人脈づくりができます。



収穫体験用はラビットアイという品種。実つきが良くお客様に喜ばれている



江田島市から移住／



藤山理恵さん

安芸郡熊野町出身。保育士やフリーターを経て農家に。狩猟免許も保有。現在は「山の灯台農園」を営み米や野菜を栽培。農業や移住生活について綴った自著『いただきますの山』（そうさん出版）が好評。

栽培品目

米・大豆・麦・ピーナッツ
キャベツ・トマト・ナス

4
VOICE

子どもたちに生きた農体験や食育を提供したい

独小

保育士をしていた頃、子どもたちと畑作業をすることがあり農業に興味を持つようになりました。転職して尾道市で暮らし狩猟免許を取得。その後は北広島町の農事組合法人で働きながら農業の知識と技術を習得しました。曾祖父が暮らしていた江田島市の家が空き家となったことで、片付けのため再び移住。ここで出会った夫と結婚し、夫の転職に伴い安芸太田町へ移り住みました。妊娠出産もあり、ゆるく農業を行っていましたが、2026年4月から本格的に再スタート。これまで各地を転々として気付いたのは、地域ごとに土の性質も適した作物も違うということ。少量多品目を手がける農家なのでたくさんは難しいですが、土にこだわった安全な作物を今後作りたいたいです。また、わが子が通うこども園の園児たちに、田んぼで田植体験や泥遊び、稲刈り体験など、貴重な農体験と食育を提供できればと考えています。

Message

農業は暮らしの根幹を支える大切な産業です。農業を通じ、会話が生まれたり人の輪が広がるのも、この仕事の面白さ。これから農業を始める人たちと、私自身とどんつながっていきたいです。



「土を耕さない農法を研究中。持続可能な農業をしていきます」と藤山さん

